

第1号様式（第7条関係）

リサイクル産業創出事業認定申請書（記入例）

令和×年×月×日

北海道知事 様

申請者 住所 ○○○市○条○丁目
(グループの場合は代表者) ○○○株式会社

氏名 代表取締役 ○ ○ ○

(法人にあつては名称及び代表者の職氏名)

リサイクル産業創出事業費補助金交付要綱第7条第1項の規定により、リサイクル産業創出事業の認定を受けたいので、事業計画書に関係書類を添えて提出します。

記

1 事業の目的及び内容

事業計画書（別紙）のとおり

2 補助事業に要する経費及び補助金申請希望額

補助事業に要する経費 3,050,000 円

補助金申請希望額 2,212,000 円

3 事業の着手及び完了の予定期日

着手 令和×年×月×日

完了 令和×年×月×日

4 関係書類

- (1) 決算書（直近2期分）（事業計画書とは別紙）
は青色申告書の写し
- (2) 法人の場合は定款及び商業登記法第10条に規定する登記事項証明書（個人の場合は、住民票抄本の写し）
- (3) グループによる申請の場合は、その規約等
- (4) 当該事業計画に関する特許、実用新案、意匠登録、プログラム著作権等（以下「産業財産権等」という。）を取得又は出願している場合はその書類の写し（出願番号又は登録番号及び技術の概要がわかるもの）
- (5) 試作品等の図面（規格を記入）及び工程図、製品カタログ等
- (6) 会社案内等のパンフレット
- (7) その他の事業計画に関して参考となる書類

○ 別紙「4 予算明細表」の補助事業に要する経費の合計額と一致すること。

○ 別紙「4 予算明細表」の補助金交付申請予定額の合計と一致すること。
○ 補助金申請希望額は千円未満切捨として下さい。

○ 別紙「6 事業スケジュール」と一致すること。
○ なお、事業着手日は、原則、補助金交付決定後となります。

これは記入例ですので、これに類似する事業計画であっても、補助事業として採択されない場合もありますので、ご承知願います。

事業計画書（記入例）

1 区分

事業の名称	<p>廃プラスチック類を利用した高カロリー燃料（RPF）製造施設の改良・展示会を活用したニーズ調査及び戦略（事業計画）策定のための調査</p> <p>※事業内容を表現するような適切な名称にしてください。</p>
事業者区分 (いずれかに○)	<p>1. 中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律（平成 11 年法律第 18 号）第 2 条に規定する中小企業者であって道内に主たる事務所を有する者又は主たる事業所を有する者、又は、営利を目的とせず、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与することを目的として、継続的かつ自発的に行われる活動を行う法人その他の団体であって道内に事業所を置く者</p> <p>2. 第 1 号の者で概ね構成されるグループ</p> <p>3. 第 1 号又は第 2 号以外のもの</p>

2 申請者の概要（グループの場合は、別紙にて全ての構成員について記入して下さい。）

(1) 氏名等

氏名（法人の場合は名称及び代表者の氏名）	〇〇〇株式会社		
住所	〇〇〇市〇条〇丁目		
業種	廃棄物処理業	資本金	××千円
主な事業内容 (生産・販売品目等)	産業廃棄物中間処理（廃プラスチック類の破砕、焼却）		
従業員数	(一般被保険者) ×名	(うち臨時雇用・パート)	×名
設立年月日及び沿革	<p>大正・昭和・平成×年×月×日</p> <p>昭和×年 〇〇〇を主な事業として有限会社設立</p> <p>昭和〇年 株式会社に改組、〇〇〇の事業拡大</p>		
経営理念	<p>1 自由かつ達な企業風土</p> <p>2 環境保全で社会に貢献</p>		

代表者の経歴 (新会社の場合 のみ記入)	〇〇市出身 昭和〇年 〇〇〇株式会社勤務 平成〇年 代表取締役にな就任 現在に至る
----------------------------	--

(2) 自社廃棄物の排出及び処理状況

廃棄物の種類	排出量	処理量			備考 (処理方法)
		リサイクル量	埋立量	焼却その他	
廃プラスチック	10	10	0	0	発電燃料
金属くず	5	5	0	0	スクラップ

※ リサイクルとは再生利用及び熱回収をいう。以下同じ。排出量＝処理量。単位：トン／年

(3) 環境法令に対する対応

廃棄物 処理法 の許可 対象施 設	許可対象施設の有無		■ 有 □ 無	
	許可状況	許可年月日	令和×年×月×日	令和×年×月×日
許可番号		第×××号	第×××号	第×××号
処理施設の種 類、廃棄物の 種類及び処理 能力		廃プラスチック類の破碎 施設（処理能力10トン ／日）	廃プラスチック類の焼 却施設（処理能力2ト ン／日）	

環境法令等 の遵守 状況	法令等の名称	許可、届出、協議等の状況
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物処分業（令和×年×月×日第×××号） 産業廃棄物収集運搬業（令和×年×月×日第×××号）
	北海道循環型社会推進に関する条例関係 ¹	該当無し
	その他の法令等	
	環境法令 ² 不利益処分の状況	□ 有 ■ 無

¹ 道外循環資源を一部利用する場合に限る。

² 環境法令とは、廃棄物処理法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法、北海道公害防止条例、〇市公害防止条例等

	(過去 5 年以内の法違反による罰則又は命令等の不利益処分)	(有の場合の内容)
環境保全活動 (ISO14001 の取得など、環境保全のための取り組み状況)		平成 17 年 4 月に ISO14001 を取得し、社内及び地域の環境保全活動実施中。 環境方針は「排出抑制と発生した廃棄物の全量利用」

3 事業計画の概要

① 事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 社内事業 (<input checked="" type="checkbox"/> 既存事業 <input type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 事業転換) <input type="checkbox"/> 分社化 <input type="checkbox"/> 新規創業 <input type="checkbox"/> その他 ()
② 事業の段階	<input type="checkbox"/> 構想段階 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の準備段階 <input checked="" type="checkbox"/> 既に事業化 <input type="checkbox"/> その他
③ 事業の区分	<input type="checkbox"/> 実証実験 <input type="checkbox"/> 市場調査 <input checked="" type="checkbox"/> 実証実験及び市場調査 <hr/> <input type="checkbox"/> リサイクル製品(試作品)の改良 <input type="checkbox"/> リサイクル製品(試作品)の改良及び展示会を活用したニーズ調査 <input type="checkbox"/> リサイクル製品(試作品)の改良及び戦略(事業策定) 策定のための調査 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル製品(試作品)の改良、展示会を活用したニーズ調査及び戦略(事業計画) 策定のための調査
④ 事業の目的	<p>〇〇製造業等が排出した〇〇から製造されたプラスチック燃料 (RPF) について、製造機器の改良による効率的な異物の選別・除去及び高カロリー化の手法を検証するとともに、展示会を活用したニーズ調査を行うことで道内外への販路を拡大し、さらなるリサイクルを進める。</p>

該当する部分全てに■を記載。

⑤ 事業の内容（廃棄物の量と発生場所・排出者名、リサイクルの方法、生産量など）

甲株式会社（〇〇市）、乙株式会社（△△市）から収集した〇〇について、自社施設により破碎し、高度選別機により金属、塩ビなどを除去、自社開発の添加剤「※※※」等によってカロリー調整し、良質なプラスチック燃料（RPF）を製造する。

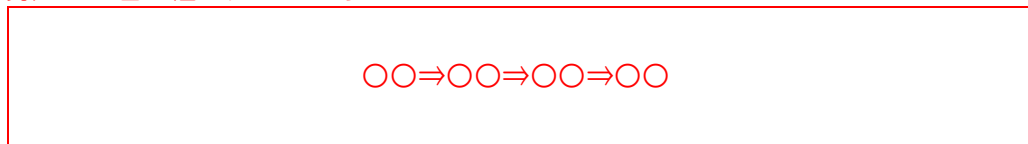
なお、販路拡大のため、〇×展示会に出展することで、道内のプラスチック燃料使用ボイラーの状況及び購入者から要求される品質を丙株式会社へ委託し、調査する。

○ 収集対象の廃プラスチック類の排出先及び性状 単位：トン

排出先事業所名	原料の由来	排出量	原料の性状
〇〇化成××工場	プラスチック製品（ラップ、〇〇）の製造はね品	〇〇	ポリエチレン
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

○ 現在の処理方法及びその問題点

現在の処理工程は次のとおり



この方式では、〇〇に〇〇という問題があるほか、プラスチックの混合率の問題から〇〇カロリー程度の燃料しか製造できないものである。

○ 今回の実証実験の方法

実証実験の工程は次のとおりであり、この実験により、プラスチックの適切な混合率及び添加剤の効果の検証を行いたい。

○○⇒○○⇒○○⇒○○

○ 市場調査の方法

市場調査は、現在、プラスチック燃料を納品している○○社のほかに、道内のプラスチック燃料使用ボイラーの状況及び要求される品質を丙株式会社に委託して調査する。また、○○市で開催される○○展示会に出展し、改良した製品（試作品）のニーズ調査を図るとともに、販路拡大を図る。

具体的な委託の内容は次のとおり

1. 委託調査対象件数 ○件
2. 委託調査期間 ○月～○月
3. 委託調査項目
 - ・ プラスチック燃料ボイラーの現状
 - ・ 燃料調達の状況及び将来予測
 - ・ 求められる品質
 - ・ 試作品の効果
 - ・

※詳細な事業内容を説明すること。

⑥ これまでの研究等の状況

基礎研究	<input type="checkbox"/> 未着手	<input type="checkbox"/> 実施中	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 実施しない
応用研究	<input type="checkbox"/> 未着手	<input checked="" type="checkbox"/> 実施中	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 実施しない
開発研究	<input type="checkbox"/> 未着手	<input checked="" type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 実施しない
実証実験	<input type="checkbox"/> 未着手	<input checked="" type="checkbox"/> 実施中	<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 実施しない

(上記の状況)

基礎研究は〇〇研究所に委託し、平成 13～14 年実施済み。プラスチック燃料(RPF)としての効果が実証されている(詳細は別紙2)。

応用研究は、平成 15～16 年と〇〇試験場で効果を含め、実証済み(詳細は別紙3)。これらの中で、添加剤「※※」も一定の効果があることが実証された。

なお、塩ビの混入率を下げるための選別施設の改良、試作品の製作も併せて行っている。

別紙2～3は省略しています。

別紙4は省略しています。

⑦ 事業化に当たっての現在の課題と事業の必要性

生産されたプラスチック燃料は、別紙4のとおり、プラスチック燃料の基準を満たすとともに、十分なカロリー等を有していると考えられるが、安定的な事業のためには、さらなる事業拡大を図る必要がある。現在の課題は次のとおり

- 1 産業廃棄物の中の夾雑物等の選別を徹底する技術手法の検証
- 2 収集範囲拡大のための効率的な運搬方法の検討
- 3 プラスチック燃料の製造コスト低減に向けた検討(製造工程の見直し、機器の改良)
- 4 プラスチック燃料の販路拡大の検討(大手〇×工場以外における利用拡大)・・・

<p>⑧ 事業の効果（地域におけるリサイクル事業への寄与、波及効果など）</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで産業廃棄物処理業者へ処分を委託していた廃棄物〇〇が、本事業により〇〇の原材料として販売できることになるため、年間〇〇tの廃棄物がリサイクルされる。 廃棄物〇〇は、〇〇振興局管内にリサイクル施設が少なく、排出事業者による排出量がリサイクル事業者のリサイクル可能量より〇〇万t多いなど、排出過多となっているが、本事業により、排出過多が解消され、循環利用が一層促進される。 <p>※ この事業を実施した場合に、廃棄物のリサイクル率の向上や最終処分量の削減等にごのような効果があるのか、現状と比較のうえ、数値を用いて定量的に記載してください。</p> <p>※ また、事業を実施した場合に、地域又は北海道内にどのような波及効果があるのか、具体的に記載してください。</p>																							
<p>⑨ 事業の新規性・モデル性³（従来の技術、システム、再生品との比較）</p> <ul style="list-style-type: none"> 廃プラスチック燃料の製造は、従来から行われていたが、〇〇〇という技術はいままでにはないものであり、その特徴は・・・ 今回の改良で新たに製造されたプラスチック燃料は、従来品の〇〇〇と比較し、・・・という特徴を有することから様々なタイプのボイラー燃料として使用することが出来る。 <p>※ 事業設備整備の内容に、新技術の実証等の新規性がある場合は、その特徴等について記載してください。</p>																							
<p>⑩ 競合品の状況等（他社技術・競合品の状況と差別化の方策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> 競合品としては、化石燃料である〇〇のほか、バージン材を利用した〇〇があるが、本製品は〇〇という特徴を有すること、価格面においても〇〇〇であり、環境負荷の面でも〇〇という特徴を有する。 また、地域においても〇〇〇であることから優位性を有する。 <p>※ これまで取り組んでいた方法や競合品と比較した状況を記載してください。なお、本補助事業により、競合品等の状況を含めた市場調査を行う場合は、その旨記載してください。</p>																							
<p>⑪ 道外循環資源利用量及び理由⁴（道外循環資源の主な発生場所、利用量及びその理由）</p> <p>予定無し</p> <p>※道外循環資源を一部、又は全部利用する場合のみ記入してください。 なお、その場合、道環境生活部との事前協議が必要です。</p>																							
<p>⑫ 事業実施場所</p> <p>〇〇〇市〇条〇丁目 弊社〇〇〇工場内</p>																							
<p>⑬ 事業実施に当たって必要な許認可及び取得見込み</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>法令等の名称</th> <th>規制等の名称</th> <th>所管</th> <th>取得の見込み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃棄物処理法</td> <td>実証実験計画の提出</td> <td>〇〇振興局環境生活課</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				法令等の名称	規制等の名称	所管	取得の見込み	廃棄物処理法	実証実験計画の提出	〇〇振興局環境生活課	有り												
法令等の名称	規制等の名称	所管	取得の見込み																				
廃棄物処理法	実証実験計画の提出	〇〇振興局環境生活課	有り																				

³ 既存技術の使用又は応用等の場合は、その旨記載すること。

⁴ 道外循環資源を一部利用する場合のみ記入すること。

⑭ 環境負荷等（他の一般製品との比較等による自己評価）

※ 本製品が、製品化され、製造販売することとなった場合の環境負荷等について記載してください。

製造段階	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 低減 <input type="checkbox"/> 不明	(理由) 製造段階では、前処理工程において〇〇〇という作業を行うため、大気、水質等において環境負荷は増加する。
運搬段階	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 低減 <input type="checkbox"/> 不明	(理由) 運搬段階では、他のプラスチック燃料と比べ同等の作業となるため、環境負荷は変わりません。
使用段階	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 低減 <input type="checkbox"/> 不明	(理由) 他のプラスチック燃料と同様である。
再生利用段階	再生利用可能性 <input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可	(理由) プラスチック燃料としての利用するため、再生利用はできない。
最終処分段階	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 低減 <input type="checkbox"/> 不明	(理由) プラスチック燃料として利用するため、不変である。
その他の環境影響		

⑮ 廃棄物のリサイクルへの効果（従来のリサイクル量、最終処分量等との比較）

廃棄物の種類	リサイクル対象量	現行リサイクル量	最終処分量	本事業によるリサイクル想定量	備考
廃プラスチック	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
金属くず	〇〇〇	〇〇〇	〇	〇〇〇	
計	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	

※ 全道の年間排出量等を記入すること。単位：トン

※ 一般廃棄物や道外から調達が必要な廃棄物は、その旨、備考欄に記入すること。

(説明)

〇〇〇製造業から発生する廃プラスチック類のうち、〇〇〇トン、本事業により燃料として製造可能となるが、将来的には施設の増強、工場の増設によって、〇〇〇地域においてもリサイクル事業を実施し、最終的には〇〇〇トン、新たにリサイクルすることを目標とする。

⑩ リサイクル事業の工程 (フロー図、製造方法等)

- ※ 今回実施する事業について、その事業の内容を項目立て、図表等を用いて分かりやすく詳細に記載してください。
- ※ 機器等を補助対象経費として計上する際には、写真やイラストを活用するなどして、その内容について詳細に記載してください。
- ※ 廃棄物の発生から処理に至る工程をフロー図や図面等で具体的に記述してください。

<p>⑰ 再生品の種類、用途及び生産量、品質・安全性 (日本工業規格・北海道が定める工事共通仕様書に定める規格などの規格、品質等の基準適合状況や環境基準への適合状況)</p> <p>製造されたプラスチック燃料は、〇〇法(例：JIS)の基準適合済み 具体的には・・・</p>																																																					
<p>⑱ 産業財産権等の取得状況</p> <p>自社開発の添加剤「※※※」については、特許取得済み。 特許番号〇〇〇、取得年月日〇〇〇、内容〇〇〇</p>																																																					
<p>⑲ 他の助成制度の利用状況(種別、利用先、利用時期、内容)</p> <p>過去の利用及び今後の利用予定はない。</p>																																																					
<p>⑳ 資金収支計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">支出内訳</th> <th colspan="3">資金調達内訳</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>補助事業に要する経費(円)</th> <th>交付申請予定額(円)</th> <th>区分</th> <th>金額(円)</th> <th>資金の調達先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原材料・副材料費</td> <td>800,000</td> <td>600,000</td> <td>自己資金</td> <td>838,000</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>技術導入費</td> <td>220,000</td> <td>90,000</td> <td>借入金</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特許実施費</td> <td>520,000</td> <td>390,000</td> <td>道補助金</td> <td>2,212,000</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>外注委託費</td> <td>1,250,000</td> <td>937,000</td> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>260,000</td> <td>195,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,050,000</td> <td>2,212,000</td> <td>合計</td> <td>3,050,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						支出内訳			資金調達内訳			区分	補助事業に要する経費(円)	交付申請予定額(円)	区分	金額(円)	資金の調達先	原材料・副材料費	800,000	600,000	自己資金	838,000	—	技術導入費	220,000	90,000	借入金	0		特許実施費	520,000	390,000	道補助金	2,212,000	—	外注委託費	1,250,000	937,000	その他	0		その他	260,000	195,000				合計	3,050,000	2,212,000	合計	3,050,000	
支出内訳			資金調達内訳																																																		
区分	補助事業に要する経費(円)	交付申請予定額(円)	区分	金額(円)	資金の調達先																																																
原材料・副材料費	800,000	600,000	自己資金	838,000	—																																																
技術導入費	220,000	90,000	借入金	0																																																	
特許実施費	520,000	390,000	道補助金	2,212,000	—																																																
外注委託費	1,250,000	937,000	その他	0																																																	
その他	260,000	195,000																																																			
合計	3,050,000	2,212,000	合計	3,050,000																																																	
<p>21 補助不採択の場合の事業の取扱い(いずれかに○)</p>		<p><input checked="" type="checkbox"/> 実施・中止・延期・その他()</p>																																																			
<p>22 事業実施時期の遅延による事業効果への影響(いずれかに○)</p>		<p><input checked="" type="checkbox"/> 有り → 【理由】 (〇〇は夏場の高温期が〇〇であるため、この時期に実証実験を実施しなければ〇〇としての検証が困難となる。) ※指令前着手を希望する際には、詳細な理由書(任意様式)を提出ください。</p> <p>無し 不明 → 【理由】 ()</p>																																																			

4 予算明細表

区分	種別	仕様	単位	数量	単価 (円)	補助事業に 要する経費 (円)	補助対象経 費 (円)	補助金交付 申請予定額 (円)	備考
原材料・ 副材料費	原材料(〇〇〇)		トン	20	0	0	0		甲(株),乙(株)より
	原材料運送費	10t ダンプ	台	2	200,000	400,000	400,000		
	副材料(〇〇〇)		トン	5	80,000	400,000	400,000		(株)〇〇より
	計					800,000	800,000	600,000	
技術導入 費	学識者謝金		回	2	10,000	20,000	20,000		〇〇農業試験場〇〇 研究員を予定
	学識者旅費	東京	回	2	50,000	100,000	100,000		
	打合せ旅費	東京	名	2	50,000	100,000	0	0	
	計					220,000	120,000	90,000	
特許実施 費	特許使用料(〇〇〇)		件	1	520,000	520,000	520,000		(株)〇〇へ
	計					520,000	520,000	390,000	
外注委託 費	試験分析(プラスチック燃 料成分分析)		件	5	50,000	250,000	250,000		(株)〇〇を予定
	市場調査		件	1	1,000,000	1,000,000	1,000,000		丙(株)を予定
	計					1,250,000	1,250,000	937,000	
その他	展示会出展費(会場費)		回	1	250,000	250,000	250,000		
	〇〇購入		台	1	10,000	10,000	10,000		
	計					260,000	260,000	195,000	
合計					3,050,000	2,950,000	2,212,000		

※道補助交付申請予定額は千円未満切捨てとしてください。

5 事業化構想（事業化の見込み）

<p>① 事業成果の活用方法（事業化の方法、地域・道内での活用方法等）</p> <ul style="list-style-type: none"> 本処理技術について、道内同業者に対し、有価で技術移転する予定であり、本技術を用いた処理施設が道内各地及び道外で整備される見通しである。 							
<p>② 事業成果に対する市場ニーズと規模</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業のリサイクルにより、廃棄物〇〇の当地域内での〇〇に代わるリサイクル材としての活用が可能となる。当地域内での、リサイクル材の活用にあたっては、その推進のため、〇〇を事務局とする〇〇協議会が設置されている。 〇〇〇市内の廃棄物〇〇の排出量は〇〇〇 t／年であり、これの〇%がリサイクルされることにより、〇 t の新たなリサイクル事業が確立し、市場規模では〇〇〇円／年となる。 							
事業化構想	再生品の販売計画等（需要先, 販売方法等）	<p>弊社では、従来からプラスチック燃料の製造販売を行っており、既存の販売店、得意先ルートを活用するほか、本事業（市場化調査）により新たな販路拡大（新規事業者の開拓）を図るため、年〇〇〇トンの販売が見込まれる。</p> <p>（あるいは）</p> <p>本事業の実施については新たに〇〇〇との委託販売を予定しており、年〇〇〇トンの販売が見込まれる。</p>					
	増員計画	補助事業完了1年後	1名	補助事業完了2年後	3名	補助事業完了3年後	10名

※可能な限り、詳細に説明願います。

6 事業スケジュール

事業区分	項目/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実証実験	燃料調達		原材料調達										
	試作品製造			試作品製造									
	配合比検討			配合比検討									
	分析			試験、分析									
市場調査	調査			市場調査委託									
展示会出展	出展					○×展示会出展							

報告書作成

事業報告・報告書提出

7 実施体制等

連絡先	担当者所属名	
	担当者職氏名	
	TEL	
	FAX	
	担当者 E-mail	
外部委託・委嘱の状況(外部委託・委嘱する場合)	外部委託・委嘱予定者の住所・氏名	外部委託・委嘱の内容
	〇〇市〇条〇丁目〇 丙(株)	製品の販売、〇〇〇等についての市場調査
	〇〇市〇条〇丁目〇 〇〇試験場 〇〇研究員	プラスチック燃料の〇〇〇についてのアドバイザー
補助事業に対する責任の所在(グループによる申請の場合)		